

令和5年度 中学生のための高等学校体験入学募集要項

- 1 目的 (1) 中学生を対象にして、授業・実習等の体験や施設・設備等の見学を行い、高等学校等についての理解を深めさせ、自己の進路選択の参考に資する。
(2) 中学校及び特別支援学校の進路指導担当教諭及び保護者を対象にして、授業・実習等や施設・設備等の見学及び高等学校等の関係者と研究協議を行い、高等学校等に対する認識を深めさせ、進路指導の充実を図る。
- 2 主催 青森県教育委員会、青森県立名久井農業高等学校
- 3 対象 (1) 体験入学を希望する中学3年生
(2) 中学校の進路指導担当教員及び3学年担任等
(3) 中学生の保護者
- 4 日時 令和5年 7 月28日(金) 9:00～12:00
- 5 日程 8:30～ 8:50 受付(生徒玄関) ※受付で全体説明会の会場にご案内します。
9:00～ 9:40【40分】 全体説明会(日程案内、学校説明、活動紹介他)
※全体説明会終了後、体験学習の見学及び施設の説明があります。
～ 休憩・移動 (20分) ～
10:00～11:50【110分】 中学生体験学習(科・学習コースごと)
体験(1) 10:00～10:50 ※保護者・引率者は自由見学。
～ (移動10分) ～
体験(2) 11:00～11:50
11:50～12:00【10分】 アンケート記入・解散(各コースごと)
- 6 体験内容 別紙「中学生のための高等学校体験入学[学習内容]」参照
- 7 持参するもの 筆記用具、上履き(生徒)
※中学校で使用しているジャージで来校してください。制服でもかまいません。
- 8 参加人数 参加人数には制限ございませんが、別学科のコースになることもありますので、予めご了承ください。

9 申込方法

令和5年7月7日（金）締切り

- (1) データをダウンロード後にメールで本校担当者へ送信してください。
HPから[参加申込書（エクセル形式）]をダウンロード→入力後送信。
 ※生徒氏名等の入力間違い防止のため、お手数ですがご協力お願いします。
- (2) 可能な限り希望のコースで体験できるように調整する予定です。ただし、人数に偏りがでて、実験器具や場所等の都合により別学科のコースになる場合は、
7月12日（水）までに調整してご連絡いたします。
 連絡がない場合は本校担当者まで、折り返し確認の電話をお願いいたします。
- (3) 大変ご面倒をおかけいたしますが、学校で取りまとめて申込書の送信をお願いします。

HPダウンロード用				【 参加申込書 】	
令和5年度中学生のための高等学校体験入学申込書					
申 込 先		名久井農業高等学校 教務部			
中 学 校 名		立 中学校			
申込担当責任者氏名					
※学科名 …… Aコース[生物生産科] Eコース[環境システム科]					□行が不足している場合は追加してご使用ください。
No.	生 徒 氏 名	性別	希望コース	備 考	
例	名 久 井 太 郎	男	E		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
引 率 教 諭				参 加 保 護 者 氏 名	
1				1	
2				2	
3				3	
				4	
				5	

HPからこの様式をダウンロードして
メールで送信してください。

※HPからダウンロード後、氏名等を入力して本校担当者(教務部 竹園 通之)へメールで送信します。
takesono-michiyuki@m04.asn.ed.jp

(担当者)
 〒039-0502 三戸郡南部町大字下名久井字下諏訪平1番地
 青森県立名久井農業高等学校 教務部 竹園 通之
 TEL : 0178(76)2215 FAX : 0178(76)2234
 メール : takesono-michiyuki@m04.asn.ed.jp

[学 習 内 容]

申し込み×切日	令和5年 7月 7日（金）×切
コ ー ス	参加申込書（HPよりダウンロード）に、 AコースかEコースのどちらかを希望してください。
体験入学実施日	7月28日（金）

※A E各学科とも、時間内で2つ【(1)(2)】の学習内容を体験していただきます。

コース名 [学科]	体 験 学 習 内 容
A コース [生物生産科]	（１）「野菜の加工をしてみよう」 普段皆さんは野菜を加工することなく、主食に添えておかずとして食えることが多いと思います。野菜の漬け物作りを通して素材の特徴や加工の原理を一緒に学びましょう。
	（２）「本校産のモモのおいしさと安全性の理由を探ろう」 「北のフルーツ王国」と呼ばれる南部町に位置する本校でも、リンゴやサクランボ・ブドウなど様々な果樹を育てています。今回は、7～8月が旬のモモ（本校産）の品質調査と食味試験に取り組むことによって、果樹栽培の実際を体感してもらおうとともに、J G A P 認証の取り組みも紹介します。
E コース [環境システム科]	（１）「木材加工実習」 ものづくり体験実習。私たちの身の周りには数多くの木材製品があります。木材の切断・穴あけ・組立・仕上げ作業など、様々な加工工程を経て製品を完成させよう。何が出来るかは当日のお楽しみ。
	（２）「水耕栽培から栽培環境を考えよう！」 栽培環境をコントロールしやすく、様々な環境下での実験にチャレンジしやすい水耕栽培。今回は水耕栽培で獲れた野菜を試食しながら、様々な環境下で栽培した野菜の品質の違いを調べてみましょう。そして、皆さんのアイディアで家庭でもできる宿題をプレゼントします。